



ゆりはまごはん

～ながせこども園～



9月11日（金）は、ながせこども園に給食訪問へ行ってきました!! 9月12日は「鳥取県民の日」です!! 今年は12日が土曜日なので、前日のこの日が、鳥取県のおいしい食材を使った給食献立となっています♪ 境港産のサーモンを使用したコロッケ、東郷の二十世紀梨、お汁に入っている牛乳は「大山乳業」、その他にも、豚もも肉、ミニトマト、さつまいも、きゅうり、しめじも鳥取県産です。給食放送で、「9月12日は鳥取県の誕生日です!」と子どもたちに紹介してくれました(・∀・)



～つき組～

最初は自分で手を出して食べることがなかった子たちも、意欲的に食べるようになってきたそうです。手のひら全体を使って不器用そうに食べていた子も、指を使って上手につかむこともできるように♪ まだ、手のひらで押し込むように食べちゃう時もあるけれど、これも練習練習(^^♪

手づかみをして、口に運ぶのだけれどかじることが苦手な子がいるということで、口の中を覗いてみると、歯が上下に2本ずつしか生えていませんでした。

ある程度かたさのある食べ物をかじり取るには上下に4本ずつ必要です。歯の生える時期には個人差があるので、1歳だから…と年齢で決めずに、口の成長に合わせた食材のかたさににしてあげましょう! ながせこども園では、0歳児の給食によくスティック状の野菜を提供してくれます♪ かたさも適切で、この時期の子どもたちの咀嚼の練習になるので、ありがたいですね(・∀・)

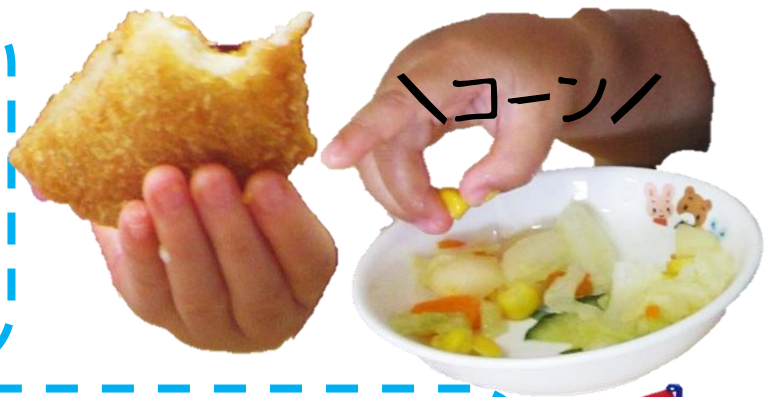


完了食のお友達2人は、トマトが苦手(+_+)

お皿にいつまでも残るトマト…頑張って口に入れるけど口から出てきてしまいます。でも、先生は「**トマトのエキスを吸ったからOK!!**」と口に入れたという頑張りを褒めてくれました♪ この繰り返しで、食べられるようになってくるのですね～

～ほし組～

ながせこども園では、1歳児クラスも完全手づかみ食べです(/・ω・)/食具を使用するのは10～11月頃で、それまでは手づかみ食べで指先をしっかりと使うことを推奨しています。手づかみ食べを嫌がる子もおらず、コーンなどの小さなものも上手につかみます。

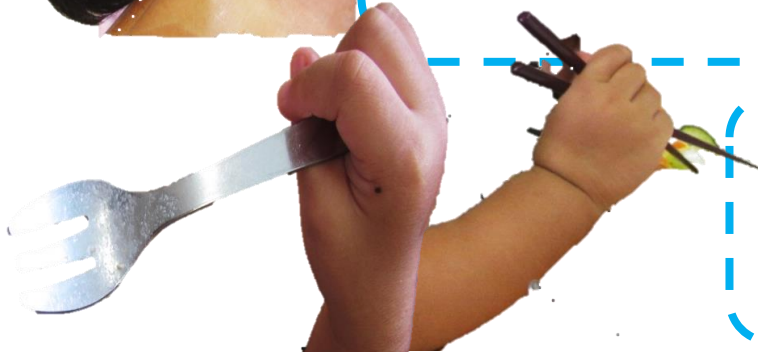


＼コーン／



～にし組～

このクラスは、各テーブルに牛乳パックに立てられた旗が置かれていました。テーブルごとに旗の色が違って、楽しい雰囲気が出るようにと先生が作られたそうです♪食事時間が楽しくなる工夫が嬉しいですね(^^)写真左の彼は、見知らぬ人が近づくすとサッと顔を隠してしまふ照れ屋さん♡可愛いので、もう一度近づいても隠れちゃいました(´艸`)食べるのを中断させてごめんね！



2歳児クラスでは、お皿を持って箸で食べる子、フォークの持ち方がまだ幼い子と成長に個人差がありましたが、比べる必要はありません！その子なりに上達していきますよ(^^)♪

《きょうのめにゆう》

・さあもんころけ あいしょうじろ
・なしさらだ ・みにとまと



～ひかり組～

年長児クラスでは、この日の給食に使用される食材を「3色の食品群」ごとに分ける食育活動をしていました。この日のメニューが「鳥取県の日献立」だったので、給食当番さんが、鳥取県産の食材を給食放送で紹介してくれました。放送終了後、子どもたちに「今日の給食の鳥取県産の食べ物ってなんだった？」と聞くと、全てではなかったですが、ほぼ正解！ちゃんと放送を覚えていてエライ!!(・∀・)

年長さんは、好きなものを最後まで残しておく子が多かったです。サラダに入っている梨だけを最初にお弁当箱のふたにとっておいて、最後に食べる子も(´艸`)三角食べしようねと言ったりもしますが、個人的にはこういう食べ方が子どもらしくて、たまらなく可愛いな～と癒されています♡



給食当番さんは可愛いトトロのバッチがつけられていました。給食当番活動は子どもたちにとっては楽しみの一つです(^^)♪我が子は、「今日、給食当番だった!!」と気合を入れて登園していくほど(笑)子どもたちにとって、何か役割があるって嬉しいのですよね。お家でも、お箸を並べるなど簡単なことでいいので、担当させてみてはどうでしょう♪

